

## 空港拡張で燃える「隠岐の島町」

—— 観光振興の起爆剤になるか ——

今年7月大阪・伊丹空港から隠岐の島へ、日航ジェット機がやってくる。滑走路も1,500mから2,000mに延長された。「隠岐」にはジェット機乗り入れにより、夏の観光シーズンを一気に活性化しようとの願いと思惑がある。あまり知られていない「隠岐」の観光資源をこれからどう訴えていくのか。いままで積極的な試みが成されて来なかっただけに、これを機会に「隠岐」はもっと自らの魅力をPRすることを考えようとしている。空港のある隠岐諸島最大の島、「島後」の4町村は16年10月に合併して1島1町となり、「隠岐の島町」という新しい町に変わった。新しい自治体こそが、斬新な施策を打ち出すことができる。

後醍醐天皇にまつわる歴史的遺産、日本相撲協会から認知された「古典相撲」、牛角力、絶景の国賀海岸、新鮮な近海魚など、埋もれていた観光資源にもっと光を当て、広く全国的に売り出すことを考えるべきである。はたしてジェット機乗り入れは、隠岐観光振興の起爆剤となるか。

近藤節夫記